

縫文 単親閣

第25号

H21.3月

発行人 医療法人社団

沼津市高浜町6-1

すんとある

TEL 055-922-8855

だんだん暖かくなり、寒さをあまり感しませんね。

過ごしやすくなったり嬉しいですが、その反面、眠くなる陽気です。

仕事中にオーハーとしないように気をつけなくては

この季節は、桜が咲いたり、たんぽぽが地面を明るくしたり、

とにかくお花がキレイとカワイイですね。外が華やかなら、

お部屋の中だって」といって、今回は院内一器用かな

ディケアスク・川村さんのお話です。とつまつ

お部屋を彩る

ディケア 川村 信子

3階のディケアに勤務している川村です。私の実家では、いつも周りに布や糸などが目に見える所にありました。2月8日の針供養が行われる日は自分で縫う、着物を見て、家に集まりました。2月8日を「御事始」。

12月8日を「御事納」とする伝承がありました。東京周辺などでは、12月8日「御事始」、2月8日「御事納」と逆に呼ぶところもあります。

この日は、針仕事を休み、使えなくなったり古い針を集め、豆腐やこんにゃくなとに刺し神棚に供えたりして、使った針に感謝の気持ちを込めて、供養すると共に、針仕事を、一連するようにと願いを込めて行われる行事です。



毎日の生活の中で、針を持つことに興味を持っていたりましたが、ながなが針を持つ時間もなく、成長してゆく過程では、機会にも恵まれませんでした。

今から15年前に、伊豆稻取を訪れる機会がありました。ホテルや商店街やみやげ館など、どこにでも「つるし飾り」が飾っていました。

日本の各地には、40布の小物で作る伝統的な伝承藝術があります。福岡県柳川の「さがりもの」は歴史が古く、180年程になります。

山形県酒田市の「金福」。傘の先に幕を張り、飾り物を吊し、その下に名札をさげ、庶民の願いを神社仏閣に奉納します。

伊豆稻取「つるし飾り」が飾られて100年もの歴史をもっています。

上記のところでは、町おこしとして取り組み成功しております。「つるし飾り」や「さげもん」や「金福」を作る材料として、「縮緬」を使います。

縮緬は、繊に糸やかなしなれの入った着物地で、独特の光沢や風合いを持ち、お絹工物には最高級の布です。お絹工物では、縮緬の他、羽二重、紬緞、白絹、慶の手紋などよく使われます。ひな祭りにひな縫の玉ねぎに華やかな物語細工や手まり、飾り玉などを吊し、初節句を迎える子供たちが、花火のように、ましく成長してくれる事を願い、季節の花やおめでたい福良雀、鶴、栗物など、日本の伝統を示します。愛情を形に表現し、時間を超えて、母親や祖母が子供や孫の成長や幸福を願い、針一針作りあげた愛情いっぱい詰まった縫いもの室物です。

明治、大正、昭和、平成の女性の手の技や知恵が見直され、失われかけた縮緬のよさが田から子へ伝承されるように、次の世代にも引きつかれ、針への大切なる思いを忘れないで、手し飾りを作っていくたいと思います。

